

総務委員会議会報告会報告書

報告日：令和7年12月15日

開催日時		令和7年11月6日（木）18：00～19：30	
開催場所		広島大学ミライクリエ1階多目的スペース	
出席者	参加者	11人	
	議会側	【総務委員会】 鈴木委員長、下向副委員長、上田委員、片山委員、北林委員、重森委員、宮川委員、石原委員 【委員外議員】 中川副議長、鍋島議員、原田議員、向井議員、小池議員、坂元議員、岩崎議員	
実施内容報告	議会報告	テーマ	予算から見る東広島市
		概要	本市施策の方向性について、財政を切り口として説明した。「予算」「決算」を類似団体との比較の中でとらえ、「中期財政運営方針」「財政指標」を示すことによって、本市財政の健全な状態も説明している。但し、「次世代学園都市構想に向けた施策」を予定している令和12年度までは、財政運営にしっかり留意していくことを付け加えている。
		質疑応答	全体としての質疑は行わず、各班意見交換の中で行われたが、説明に直接関連することは以下のとおりである。 質問：類似団体とは何か。 回答：人口規模・産業構造が似かよった団体である。 質問：決算を議会が認めない場合は。 回答：決算不認定の場合でも、決算を議会が認めなかったという事実が残るだけである。 質問：今後の基金減少の影響は。 回答：基金額が減少しても財政運営に影響は少ない、としている。
	意見交換	テーマ	予算から見る東広島市
		まちづくりについて 【相手方意見】 ①地域ごとの特色がある中、地域別計画をどのように進めるのか。 ②中山間地域における太陽光発電の規制についてどう取り組むのか。 ③東広島市の位置づけは広島市のベッドタウンではないか。	

実施内容報告	意見交換	<p>④東広島市は中核市を目指すべきで、その議論をしていないのか。</p> <p>⑤東広島市は日本酒文化と酒蔵のPRを展開しているが、情報発信が弱いのではないか。</p>
		<p>【議会側意見】</p> <p>①既存の事業も多く、地域と行政が一体となって課題解決に努めていくことになる。</p> <p>②令和7年6月の定例会で、この問題に対処するための条例を可決している。</p> <p>③本市はあくまで本市を中心としたまちづくりを進めている。</p> <p>④中核市を目指すべきと考える議員も多いだろうが、本格的な議論には至っていない。</p> <p>⑤情報発信は様々行っているが、まだまだ工夫を凝らすことが必要と考えられる。</p>
		<p>大学と学生生活について</p>
		<p>【相手方意見】</p> <p>①大学・企業・行政の共同研究は、社会課題の解決を目指して行われていると思うが、どこが最初にアプローチを始めるか。</p> <p>②学生の意見を吸い上げてもらえるような、行政の仕組みを希望する。</p> <p>③学生を始めとした若者が、楽しく遊ぶことのできる施設が東広島市にはないと感じるがいかがか。</p>
		<p>【議会側意見】</p> <p>①どことは決まっていない。大学発もあれば、市からもある。</p> <p>②現在、直接的な仕組みはないのかも知れない。</p> <p>③若者が集い、遊ぶことのできる施設という考えでのまちづくりは成されていないと感じる。</p>
		<p>議会について</p>
		<p>【相手方意見】</p> <p>①議会での協議の場としては、どのようなものがあるのか。</p> <p>②会派とは何か。</p> <p>③議員が自らの居住地に政策誘導を行うといったことは生じないか。</p>
		<p>【議会側意見】</p> <p>① 常任委員会、全員協議会、決算・予算特別委員会や、年4回の定例会における一般質問・代表質問において方向性等を議論している。</p> <p>②議員が同じ理念のもとに集まって活動する政策集団である。</p>

実施内容報告	意見交換	③地域要望を実現していくことは大切であるが、市全体の課題や方向性を議論する姿勢が第一義と考える。
		<div>その他の意見</div> <div><p>○市内に魅力的な企業があれば残ってもいいが、そういう情報がない。就職に関する大学からの情報や取組みはあるが、市からの情報には触れたことがない。</p><p>○アミューズメントがなく、バス交通が不便。新幹線を使うにも便利が悪い。結果、生活が不便になっている。出身高校（愛媛県）からの広島大学と岡山大学の進学比率が、最近、岡山大学の比率が上がっている。立地が悪くて不便だとの情報が拡散されている。</p><p>○TGOアプリについて、そのようなものがあつたかもしれないが、まったく使っていない。</p><p>○次世代学園都市構想については、まったく知らない。</p></div>
その他 (感想・意見等)		<p>学生に行政情報が伝わっていないことを痛感した。次世代学園都市構想やTown & Gownについて、ほとんど知らない状態であった。</p> <p>TGOアプリについて聞いたところ、入学時に入れたような気がするが、まったく必要性を感じていないことから、アプリを使わないし、アプリの存在すら忘れてしまうような状況とのことであった。</p> <p>特に印象に残った発言として、「広島大学に入学はしたが、東広島市を意識したことがない。結果、東広島市で就職したいとか、住みたいとか、今のところ思っていない。」とのことであった。行政の施策の方向性として、学生の皆さんにとって何が必要かを、今一度、しっかり研究すべきと感じた。</p> <p>話し合いの中、学生協働支援隊、まちづくり実践講座の存在を初めて知り、興味深くメモをとる姿が印象的であった。</p>

総務委員会議会報告会報告書

報告日：令和7年12月15日

	参加者	24人	
	議会側	【総務委員会】 鈴木委員長、下向副委員長、上田委員、北林委員、重森委員、宮川委員、石原委員 【委員外議員】 奥谷議長、木村議員、向井議員、小池議員、岩崎議員	
開催日時		令和7年11月10日（月）18：00～19：30	
開催場所		近畿大学工学部C館3階（TERACO.LAB）	
実施内容報告	議会報告	テーマ	予算から見る東広島市
		概要	本市施策の方向性について、財政を切り口として説明した。「予算」「決算」を類似団体との比較の中でとらえ、「中期財政運営方針」「財政指標」を示すことによって、本市財政の健全な状態も説明している。但し、「次世代学園都市構想に向けた施策」を予定している令和12年度までは、財政運営にしっかり留意していくことを付け加えている。
		質疑応答	全体としての質疑は行わず、各班意見交換の中で行われたが、説明に関連する内容は以下のとおりである。 質問：マイクロンへの多額の投資による企業拡大などによって税収増が見込まれるとの説明だが、このことによって、個人の税金は減ることはないのか。 回答：個人の税、市民税などは法律によって税率が決められおり、人口によって少し差はあるが概ね統一された税率であることから減税にはならない。 質問：公共施設の老朽化が進み、修繕費が将来的に心配。 回答：公共施設マネジメント部署を新設し、計画的修繕でコスト抑制を進めている。 質問：市職員の人数・人件費も見直しが必要ではないか。 回答：DX・AIを活用し、将来的には一般事務職を適正化していく。一方で、現在は人口増から見ても成長都市でもあるところから、保育士など専門職は必要であり人員増は求められており、確保を続ける必要がある。

実施内容報告	意見交換	テーマ	予算から見る東広島市
		まちづくりの大枠について	
		【相手方意見】 ①次世代学園都市構想について、広大周辺には学生街があるのに、さらに次世代学園都市という学生のためのまちづくりが必要なのか。 ②本市では外国人が増えているが、外国人と仲良く暮らすまちづくりをどのようにしていくのか。	
		【議会側意見】 ①広大周辺地域と半導体企業のある八本松町吉川地域を中心とした新たなまちづくりを行い、東広島市のエンジンとしての整備を行おうとするのが次世代学園都市構想なので、学生街を整備するものではない。 ②人口の約５％に当たる約１万人の外国人が住んでいる。従って、多文化共生社会の推進を、東広島市総合計画の柱の一つとしている。そのための具体的な事業も様々計画・実施されている。	
		まちづくりの具体的施策について	
		【相手方意見】 ①東広島市では、不登校になった小中学生への対応がすごく充実していると感じるがいかがか。 ②高屋はバスが少なすぎる。観光を語るうえで交通機関は重要である。 ③バスを中心とした公共交通のあり方について、東広島市の取り組みは弱いと感じるがいかがか。 ④高齢化により、町内会の運営が困難になってきている。住民自治協議会へも市から多くの仕事が振られている。ただ、65歳から75歳の方は、探せばたくさんいる。表に出ていないだけで即戦力の人。こういう人達を探して活用しなければならない。 ⑤耕作放棄地の激増により住宅団地周辺でも猿の目撃情報がある。このような放棄地を何とかできないか。 ⑥出産できる病院が、市内には実質２か所しかなく選択肢が少ない。産科・小児科の充実を求める声もあるがいかがか。 ⑦市民病院の建設を求める声があるがいかがか。 ⑧東広島には本社機能を持つ企業が少ない。工場ばかり増えても、本社でなかった場合、市の収入や地元の利益につながるのか疑問。 ⑨県道・国道の整備が遅れていると感じる。特に、自転車や徒歩での移動がしづらく、改善してほしい。	

実施内容報告	意見交換	<div data-bbox="595 152 1540 1541"> <p>【議会側意見】</p> <p>①不登校の児童生徒が学校内で安心して過ごし、学習させるため、空教室などを活用するSSRや、県が運営するSCHOOL“S”など、個別最適な教育も重要と考えている。</p> <p>②現在では市街地循環バスが主となっている。バス運行を持続的に運営するためにどうすべきか、課題である。</p> <p>③路線バス事業を補完していく形で、コミュニティバス事業を行っている。加えて路線バスを有機的につないでいく交通結節点の整備も行っているところである。</p> <p>④スマートシティ構想による解決を目指している。</p> <p>⑤現在、市の取り組みとしては、箱ワナを中心とした有害鳥獣駆除事業を行っている。しかし、耕作放棄地の拡大は、野生動物の生活圏域を拡大させるだけなので、農政全体での取り組みが必要と感じている。農業全体で担い手をどのように確保していくかが、根本的な課題と捉えている。</p> <p>⑥現在、医療センターと民間病院の2か所で出産件数に対応している。しかし、出産はセンシティブで相性もあるため、選択肢が限定されているのは課題と考えている。その上で、産婦人科医・小児科医の確保のため寄附講座や開業支援を行っている。</p> <p>⑦市民病院新設は費用・医師不足の課題が大きく、慎重な検討が必要である。看護・医療系人材を地域で育てる仕組みづくりが重要と考えている。</p> <p>⑧次世代学園都市構想の中で、企業誘致による歳入増をめざしている。また、マイクロン関連の進出で固定資産税は増加見込みである。今後は本社機能の誘致や地元企業の育成も重要課題と認識している。</p> <p>⑨小規模補修で対応できる箇所は、市としても可能な範囲で調整していきたい。</p> </div> <div data-bbox="595 1541 1540 2024"> <p>大学と学生生活について</p> <p>【相手方意見】</p> <p>①大学生が多い市であるが、卒業時に市外へ行ってしまう。その対策が急務ではないか。</p> <p>②西条以外の地域は娯楽が乏しく、大学周辺はバイト先も少なく住みにくい。</p> <p>③休日に遊ぶ・食事する場所が限られ、西条まで移動する必要がある。若者が夜に安心して集まることのできる場所が少ない。</p> <p>④スポーツやeスポーツで地域が盛り上がる仕組みがほしい。</p> </div>
--------	------	--

実施 内容 報告	意見交換	<p>【議会側意見】</p> <p>①東広島市には4つの大学があるが、卒業後の市への定着率は若干上がったものの約4％という状況である。市内出身者でも卒業後は、首都圏などに就職を求め、ましてや市外から東広島市の大学に来られた学生が、ここに残っていただくことは本市の課題の一つである。半導体産業の集積はあるものの、全体数からすれば採用者数は少なく、新たな業種の誘致やUターン後の受け皿づくりが課題である。</p> <p>②若者が安心して過ごせる居場所づくりを進めたい。</p> <p>③飲食・交流・文化活動の場など、大学周辺の環境整備も検討していく必要がある。</p> <p>④eスポーツ拠点づくりやイベント支援を進めている。</p>
		<p>その他の意見</p> <p>○条件が揃えば放っておいても人口規模は自然に大きくなるが、市民にとって本当に魅力的なまちになっているかどうかが大変だ。</p> <p>○自分が学んでいる分野では、大企業がある大都市しか仕事がない。地元にはどんな企業があるかわからないし、大企業の情報しか入ってこないけど、地元の魅力のある企業があれば選択肢になる。</p> <p>○遊び場が少ない。スポッチャが欲しい。バスの本数が少ない。夜遅くなるとバスがないので、飲んで帰るときに困る。</p>
	<p>その他 特記事項 (感想・意見等)</p>	<p>幅広く意見や質問をいただいた。</p> <p>視点を変えると、見えるものが違ってくる感じた。</p> <p>学生の意見では、情報が届かないことがあげられ、地域情報について指摘された。</p> <p>広島大学でも情報についての意見があったが、学生に対する情報提供について再考する必要がある。</p>